

着ぐるみを使用する際の注意事項

【運搬時・着脱時】

- 運搬、着脱、収納の際、着ぐるみを汚損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。
- 着ぐるみは、汗を吸いやすく容易に洗えない素材のため、着用の際は、素肌が直接着ぐるみに触れないように、長袖、長ズボン、軍手等を着用すること。
- 分離タイプは頭が直接触れないよう、必ず頭にタオル又は手ぬぐいを巻くこと。また、型崩れしないよう取り扱いに留意すること。特に、胴体が折れ曲がった状態にならないよう十分注意すること。
- 耳、しっぽを持たないこと。また、名札の安全ピンで留めている部分は破損しやすいため、絶対に引っ張らないこと。

【使用時】

- イメージの統一のため、着用者は絶対に声を出さないこと。（『○○』とっています」とそばにいる職員等が通訳することは可能。）また、関係者以外の目に触れる場では着脱しないこと。
- 着用すると視界が狭くなり、動きにくくなるため、安全対策として必ず介助者をつけること。
- 着ぐるみの靴部分を引きずって歩くと、破損する原因となるので、足を上げて歩き、靴底を引きずらないよう注意すること。
- 会場の気温などを考慮して水分補給を行うなど、十分な暑さ対策をとること。
- 当日の会場、天候及び着用者の体調などを考慮して適宜休憩をとり、交代するなどして無理のない着用をすること。
- 雨天時は、原則として屋外での使用は控えること。使用中に降雨又は降雪となった場合は、速やかに使用を中止するか屋内に入ること。
- エアタイプの場合は、バッテリー残量に注意し、早めの交換を行うこと。

【使用后】

- 使用後は、固く絞ったぞうきん等で汚れを拭き落とし、消臭スプレーなどを使用し、風通しの良い所で陰干しし、十分に乾燥させてから返却すること。
- 靴底の汚れをぞうきん等で拭き取ること。
- エアタイプの場合は、原則としてバッテリーを満充電して返却すること。
- 汚損箇所がないか確認し、使用前の状態にして返却すること。また、各部に異常がないか確認し、異常があった場合は直ちに貸出機関に申し出ること。